

令和元事業年度

決 算 報 告 書

自：平成31年4月 1日

至：令和 2年3月31日

大学共同利用機関法人 情報・システム研究機構

# 令和元年度 決算報告書

大学共同利用機関法人 情報・システム研究機構

(単位：百万円)

区 分	予 算 額	決 算 額	差 額 (決算－予算)	備 考
収入				
運営費交付金	19,991	20,266	275	(注1)
補助金等収入	874	818	△ 55	(注2)
施設整備費補助金	2,013	1,530	△ 483	(注3)
大学改革支援・学位授与機構施設費交付金	21	21	-	
自己収入	165	300	134	(注4)
雑収入	165	300	134	
産学連携等研究収入及び寄附金収入等	3,037	3,704	666	(注5)
目的積立金取崩	94	-	△ 94	(注6)
計	26,196	26,640	443	
支出				
業務費	20,250	20,188	△ 62	(注7)
教育研究経費	20,250	20,188	△ 62	
施設整備費	2,034	1,551	△ 483	(注8)
補助金等	874	818	△ 55	(注9)
産学連携等研究経費及び寄附金事業費等	3,037	3,331	294	(注10)
計	26,196	25,889	△ 307	
収入－支出	-	750	750	

## ○予算と決算の差異について

- (注1) 予算段階では予定していなかった運営費交付金が交付されたため、予算額に比して決算額が275百万円多額となっています。
- (注2) 補助金等については、受入額の減少により、予算額に比して決算額が55百万円少額となっています。
- (注3) 施設整備費補助金については、繰越額の発生により、予算額に比して決算額が483百万円少額となっています。
- (注4) 雑収入については、予算段階での見込みにより事業収入の増加などにより、予算額に比して決算額が134百万円多額となっています。
- (注5) 産学連携等研究収入及び寄附金収入等では、産学連携等研究収入の増加などにより、予算額に比して決算額が666百万円多額となっています。
- (注6) 注4に示した理由及び経費の効率的な執行に努めたこと等により、予算段階で予定していた目的積立金取崩額の使用がありませんでした。
- (注7) 注6に示した理由等により、予算額に比して決算額が62百万円少額となっています。
- (注8) 注3に示した理由等により、予算額に比して決算額が483百万円少額となっています。
- (注9) 注2に示した理由等により、予算額に比して決算額が55百万円少額となっています。
- (注10) 注5に示した理由等により、予算額に比して決算額が294百万円多額となっています。  
また、決算額には前事業年度繰越額として、受託研究費183百万円、共同研究費121百万円、受託事業費2百万円を含んでおります。